



第一礼拝次第

説教：アルセ・イトリアン師
司会：鈴木秀明執事

<巻頭言>

賢く歩む(エフェソ 5:15-21)

牧師 渡真利彦文

前	奏			
頌	楽	5 4 0	会	衆
主の祈り		「心に感謝をもちながら」		
プレイズ		「あなたをたたえ」		
聖書朗読		サムエル記上 17:45-47	司	会
祈	禱	(旧約聖書 p 457)	〃	
特別賛美		コストナー・千保子姉		
賛	美	3 1 2	会	衆
説	教	「5つの石」	牧	師
祈	禱			
賛	美	5 2 9	会	衆
献	金			
報	告		司	会
頌	栄	新生 6 7 2 B	会	衆
祝	禱		牧	師

私の父の郷里の方言では、若者のことを「ばかむん」と言うそうです。その方言を知らない他の地方から来たある若い教師が、みんなから「ばかむんしんしー」(「しんしー」は「先生」の意)と言われ、教師を辞めたいと上司に相談しました。相談された上司は、「みんなは若い先生が来たって喜んでるんだよ」と答えたそうです。

愚か者、馬鹿者と言われることは、悲しいことでありおもしろくないことです。しかし、ただ言葉を知らないとか勘違いをしたということではなく、私たちは、本当に愚かな自分に気づくときがあります。本当にひどい情けない自分に時々出会います。そして、愚かな道を歩みたくない、賢い生き方をしたいと心から願いますが、どう修正したらよいのがわかりません。しかし、創造主が造られた自然界を通して、また神の言葉である聖書を通して、さらに聖書の中の救い主イエス・キリストに出会うことにより軌道修正することができるのです。

日本の言葉に、「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」と言われているように、人の立ち居ふるまいには古くから関心が寄せられています。同じように今から約 3000 年前、栄華を極めたダビデ王も、どのようにふるまうかに注意を払っています。「幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人」(詩編 1:1)と。神様と共に正しい道を賢く歩んで行きたいものです。



第二礼拝 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書:ヨハネの手紙 I 1:9 (新約聖書 p 441)
説教:「救いとは」
プレイズ:「心に感謝を」「あなたをたたえ」
讃美:新生 278 新生 300



ファミリー礼拝 (9:00)

説教:ラスムッセン・ジヨハン執事
司会・奏楽:中高生
聖書:ヨブ 32:1-14
メッセ-ジ「神の息吹をいただいて」